

全国のモデルになるような 中山間地づくりに向けた意見交換を実施中

広報8月号でお知らせした意見交換会を8月17日と9月1日に役場大会議室でおこないました。2回ともオンライン参加を含めると約40人に参加いただきました。

第1回は5人ほどのグループに分かれて村の農業の現状や課題、目指す姿、目指す姿に向けてできることなどを話し合いました。第2回ではやりたいことが近い人たちを4つのグループに分け、話し合いをおこないました。このときの意見を抜粋して紹介します。ここに掲載していないすべての意見は村ホームページで紹介しています。

次回は10月26日(火)午後7時から村役場大会議室で実施予定。より具体的な計画づくりに向けた話し合いをおこないますので、関心のある人はぜひおいでください。



第1回で出された意見(抜粋)

項目	意見
村の魅力	水田や草原の景観、星空、ホタル、たくさんの野生動物、温泉、水源、歴史、神社、郷土料理、サイクリングやツーリングロード、など
村の課題	鳥獣害、野焼きができるていない、災害が多い、人手不足、耕作放棄地、交通が不便、空き家バンクの登録物件が少ない、買い物が不便、夜の店が少ない、夜の道が暗い、など
村がこうなったらしいな	耕作放棄地の解消、オーガニック給食、農業と神社や祭りの歴史を再確認、農家とレストランの連携、農機具の共有、もったいないものを共有、特産品を作る、白川の上流と下流の人の交流、など
今すぐできること	地元の物を食べる、人をつなげる、異業種交流、農業法人設立、農業機械の共有、地産地消の仕組みづくり、南阿蘇ファンクラブを作る、など
将来やりたいこと	オーガニック給食、資源のカタログ化、コーヒーの里づくり、村人の人材バンク、規格外農産物などの加工、草刈りの無人化、若者の拠点づくり、など

第2回でグループごとに分かれて出されたやりたいこと(抜粋)

グループ	意見
地産地消の仕組みづくり	南阿蘇農産物カレンダー、農産物や生産者のデータベースづくり、信頼関係を築くキーパーソンが必要、新規就農の支援、など
じゅんかん	山の管理や活用による山の再生、空き家の再生、野焼きロボットコンクール、熊本市と連携した棚田オーナー、もっと星が見える村、定住支援、など
南阿蘇テロワール	南阿蘇のクラフトビール、ビール醸造所を設立予定、羊+ビールで観光推進、長期ビジョン作成、外食産業などへの営業活動、など
有機農業などによる農業振興	オーガニック給食(800人分)、オーガニック認定制度、農産物の集荷・保管・安定供給、農家と飲食店をつなぐプラットフォーム、など